

協会報

Seasonal Association Bulletin

2025
— 夏号 —
NO.469

TOPICS

- ▶ 令和7年度(一社)石川県建設業協会定時総会の開催
- ▶ 北陸地方整備局との意見交換会の開催
- ▶ 令和7年度石川県建設産業労働災害防止大会の開催
- ▶ 「地域安全対策推進協定」の締結
～石川県内の地域安全対策に関する取組を推進～
- ▶ 「ながら見守り活動」を実施
～「石川県警察との地域安全対策推進協定」に基づく取組の推進～



石川の工芸シリーズ 81

硝子胎七宝皿「piece of nature」



“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業
一般社団法人 石川県建設業協会

INDEX

TOPICS

令和7年度(一社)石川県建設業協会定時総会の開催	1
北陸地方整備局との意見交換会の開催	3
令和7年度石川県建設産業労働災害防止大会の開催	4
「地域安全対策推進協定」の締結	
～石川県内の地域安全対策に関する取組を推進～	5
「ながら見守り活動」を実施	
～「石川県警察との地域安全対策推進協定」に基づく取組の推進～	6

褒章・国土交通大臣表彰受賞者の紹介

令和7年春の褒章受章者の紹介	7
令和7年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰受賞者の紹介	7

災害復興の足音

石川県ニュース

地震による地形変動を踏まえた洪水浸水想定区域の見直し	10
石川県土木部河川課	

令和6年度 石川県優良建設工事 知事表彰の紹介

南建設株式会社	12
株式会社宮地組	13
株式会社吉光組	14
岡・表特定建設工事共同企業体	15
沢田工業株式会社	16
株式会社のとさく	17

人材育成・確保

女性部会「百万石小町『結』」全体会議・講演会の開催	18
山梨県建設業協会「けんせつ小町甲斐」との意見交換会の開催	19
工業系高校生を対象とした現場見学会の開催	20

輝きさん

兼六建設株式会社 掛水 咲希さん	21
株式会社風組 山野 雄太さん	22
ほそ川建設株式会社 本田 広明さん	23

協会ニュース

職場における熱中症対策に関する石川労働局長からの要請	24
理事会の開催	24
常任理事会の開催	25
歩いてみよう!「のと里山海道」への参加	25
令和7年度「1級土木施工管理技術検定試験(第一次)受験対策講習」の開催	26
石川県ICTフェアの開催	27
第47回測量コンテストの開催	28
第47回測量コンテストの競技結果及び表彰式の開催	
～優勝 地区協会対抗:河北都市土建協同組合 企業・高校生対抗:株式会社高田組	29

石川県総合建設業協同組合ニュース

理事会の開催	30
令和7年度 石川県総合建設業協同組合第51回通常総会の開催	30

石川県建設産業連合会ニュース

令和7年度理事会・通常総会の開催	31
------------------	----

東日本建設業保証株式会社ニュース

小冊子サービスのご案内	32
-------------	----

関係機関からのお知らせ

国土交通省 北陸地方整備局より 有資格業者の皆様へ 発注者綱紀保持にご協力願います	33
---	----

令和7年度(一社)石川県建設業協会定時総会の開催

開催日時 令和7年5月28日(水) 13:00~14:10

開催場所 石川県建設総合センター

出席者 協会員105名(委任状49名)

概要

定時総会では、鶴山会長が、「皆様には、日々各地域での生活・社会インフラの整備、数多くの災害復旧工事に取り組んでいただいていることに対し、あらためて御礼を申し上げる。これからの道のりは長いですが、連携して知恵を結集しながら事に当たっていきたい。今後、ICT施工やデジタル化推進等による生産性の向上や、人手がかからない施工管理等を考えながら、関係当局にもお願いをし、自分たちの業務がやりやすい環境づくりを推進してまいりたい。引き続きのお力添えとご助言を賜りますようお願い申し上げます。今日は、令和6年度の事業や決算、本年度の活動計画等をお諮りするので、ご審議いただきたい。」と挨拶しました。

議事では、議事録署名人の指名後、令和6年度事業報告、令和7年度事業計画及び収支予算の2件が報告され、決議事項では、令和6年度収支決算、理事選任の2件が審議されいずれも異議なく承認されました。

総会後の理事会で、専務理事に鈴見裕司氏が選任されました。退任した山岸 勇前専務理事は相談役に就きました。



< 鶴山会長挨拶 >



< 定時総会会場 >

一般社団法人 全国建設業協会会長表彰

優良役員表彰

(規程第2条第4号該当者)
(年齢55歳以上役員等の経歴20年以上)

岡田 康晴	酒井工業(株)
井戸谷信一	北興建設(株)
今井 剛	(株)ミヤジマ建設
東 久人	東建設(株)
茶谷 和明	(株)茶谷組

優良会員表彰

(規程第4条第1号該当者)
(建設業20年以上の営業)

毎田建設(株)
(株)白原組
(株)千場建設

優良従業員表彰

(規程第5条該当者)(年齢55歳以上勤続25年以上)

山田 茂樹	加賀建設(株)	戸田 芳宏	(株)豊蔵組
宮田 永治	北川ヒューテック(株)	北村 康彦	真柄建設(株)
赤池 義浩	北川ヒューテック(株)	本堂 裕昌	真柄建設(株)
大田 和之	(株)豊蔵組	中山 敏彦	小中出建設(株)

一般社団法人 石川県建設業協会会長表彰

優良役員表彰

(規程第2条第4号該当者)
(年齢50歳以上役員歴20年以上)

笠川 英紀	伸光建設(株)
砂山 和義	(株)砂山組
池田 政基	池田建設工業(株)
川田 尚昭	(株)川田組
戸田 充	(株)戸田組

優良会員表彰

(規程第3条第1号該当者)
(建設業20年以上)

田上建設(株)
(株)山田組

優良従業員表彰

氏 名	所属会社名	氏 名	所属会社名	氏 名	所属会社名
山本 真一	北川ヒューテック(株)	鈴木 啓介	(株)北陸工建	北村 直樹	みのり建設(株)
松田 寛	〃	大墨 貴史	北興建設(株)	葭田 豊治	石田工業(株)
大塚裕依子	〃	山崎 理功	(株)本田工務店	畑中 誠	姥浦建設(株)
藤場 一慶	(株)小山組	高橋 省次	真柄建設(株)	尾崎 一啓	和田内潜建(株)
山下 英	鈴木建設(株)	金杉ゆみ子	〃	内出 雅生	(株)宮地組
海老 康行	(株)トーケン	高村 政利	(株)向出組	陸畑 大乘	三和建設(株)
永松 陽一	〃	前吉江美子	(株)江口組	藤田多美子	〃
松井 豊	〃	大川登志恵	加越建設(株)		
中村 幸広	日本海建設(株)	光山 昌義	(株)吉光組	計	25名

北陸地方整備局との意見交換会の開催

開催日時 令和7年6月23日(月) 15:30～17:10

開催場所 金沢東急ホテル

出席者 北陸地方整備局 高松 諭局長、加藤智博企画部長、五十川泰史金沢河川国道事務所長、
杉本 敦能登復興事務所長 他9名
協会 鶴山庄市会長、真柄卓司副会長、中市勝也副会長、小中出佳津良副会長、
鈴見裕司専務理事 他役員19名、事務局3名

概要

意見交換会では、高松局長が、「皆様には被災地の状況が厳しい中、復旧・復興活動に取り組んでいただいていることに敬意と感謝を申し上げます。一日でも早い復旧・復興はこれからが勝負となる。今後、石川県や地元自治体の復旧活動が本格化する中、我々もコンクリートやアスファルトの問題、捨土の関係等を先手先手で調整しながら、円滑に進むよう取り組んでまいりたい。」と挨拶されました。続いて鶴山会長が、「我々建設業界の予算面や施工面、技術開発面等、様々な分野でご指導を賜っていることに感謝申し上げます。北陸全体の景気は順調に推移し、当県は特に、公共投資部門の景気指数が突出する等、業界にとって恵まれた状況にあると思う。一方、他の業界同様、人手不足が生産性の向上等を上回る勢いで迫っていることに危機感を感じている。引き続き、皆様のご指導を賜りながら、しっかりと業務に取り組んでまいりたい。」と挨拶しました。

引き続き、加藤企画部長から「令和7年度の予算と主な事業」及び「北陸けんせつミライ2025」等に関する説明、次いで建政部、営繕部から取り組みの説明がありました。意見交換では、「各地区協会における現状と取り組み」、「今後の災害復旧・復興への対応」等について意見が交わされました。



< 高松局長挨拶 >



< 鶴山会長挨拶 >



< 意見交換会 >

令和7年度石川県建設産業労働災害防止大会の開催

開催日時 令和7年7月1日(火) 14:00～16:10
開催場所 石川県建設総合センター
来 賓 石川労働局 八木健一局長
北陸地方整備局 五十川泰史金沢河川国道事務所長
(代理 九田将茂金沢河川国道事務所副所長)
石川県 本田 琢土木部長
(代理 宮本義浩技監)

概要

(一社)石川県建設業協会、石川県建設産業連合会、建設業労働災害防止協会石川支部主催の令和7年度石川県建設産業労働災害防止大会を開催しました。県下の地区協会及び建設業協同組合の協賛を得て、約60名が参加しました。

冒頭、鶴山庄市大会長が、「全国での建設業関係の死傷事故が、本年5月末現在、前年同期に比べ約3割増加しており、当県でも、令和6年に6件の事故が発生し6名が亡くなっている。解体工事に限らず、一般建設工事でも事故が発生していることをしっかりと認識し対策を徹底しなければならない。また、本年は昨年を上回る暑さ予報が出ており、水分補給や休憩等の様々な熱中症対策もしっかりと講じなければならない。引き続き、災害ゼロを目指し真摯に取り組んでいただきたい。」と挨拶しました。

続いて来賓の、八木健一石川労働局長、五十川泰史国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長(代理 九田将茂副所長)、本田 琢石川県土木部長(代理 宮本義浩技監)の3氏が祝辞を述べられました。

この後、明珥圭祐県建設業協会建設青年委員長が、労働災害の撲滅、安全・安心な職場と若い人に魅力ある建設業への成長などを誓う大会宣言(案)を提案し、満場一致で採択されました。

引き続き、大会第2部の「建設業安全衛生管理研修」を行い、安全管理士 羽賀政昭氏から「建設業における労働災害防止」と題した講演をいただき、本大会を終了しました。



<大会の様子>



<講演の様子>

<祝辞者>



<鶴山大会長挨拶>



<大会宣言>



<八木局長>



<九田副所長>



<宮本技監>

「地域安全対策推進協定」の締結 ～石川県内の地域安全対策に関する取組を推進～

締結日 令和7年5月9日(金)
締結場所 石川県建設総合センター
出席者 石川県警察 竹本邦夫生活安全部長、木谷 力生活安全部首席参事官、
吉村 修生活安全企画課長 他職員2名
県協会 鶴山庄市会長、北川隆明戦略広報・情報化推進委員長、
山岸 勇専務理事 他職員2名

概要

石川県建設業協会と石川県警察は、県内における犯罪の抑止等、安全・安心なまちづくりに貢献する取組を推進することを目的に、「地域安全対策推進協定」を締結しました。

締結式では、鶴山会長が、「地域建設業は災害復旧や除雪等、非常時の対応を行う責務を有している。我々は県内各地に現場を持っており、それぞれが周囲の状況に関心を持ち、あるいは子供たちの登下校における不測の事態を気に掛けることにより、地域の安全・安心の確保につなげたい。また、我々自身が防犯意識を高め、県内の犯罪抑止に貢献できるよう“地域の守り手”としての役割を果たしてまいります。」と挨拶しました。

続いて、竹本生活安全部長が、「皆様に通常業務に合わせた防犯活動等に取り組んでいただき、県警察からの地域安全情報を積極的に活用していただくことで、一層連携を深め、実りある地域安全対策を推進してまいります。また、犯罪発生状況や特殊詐欺の手口・対策等の発信情報が、会員の皆様や従業員の方々はもちろん、そのご家族や地域の皆様の犯罪被害の抑止につながることを期待する。」と挨拶しました。協定に基づき、「ながら見守り活動」の実施や犯罪抑止等に関する指導啓発の推進、講習会の開催等を予定しています。



「ながら見守り活動」を実施 ～「石川県警察との地域安全対策推進協定」に基づく取組の推進～

石川県建設業協会は、令和7年5月9日(金)、石川県警察と締結した「地域安全対策推進協定」に基づく取組の第一段として、「ながら見守り活動」を開始しました。

- 車両や重機に専用マグネットシートを貼って通常業務を行いながら、事件や事故を目撃した際には110番通報するもので、会員企業206社、県協会及び各地区協会・組合で取り組みます。能登地域では、災害復旧工事に際して「地域を見守る目」を増強するなど犯罪抑止効果が期待されます。

- マグネットシートは、建設業を象徴する重機のバックホウが、県警マスコットいぬわし君とともに地域に目を光らせ、子供たちに忍び寄る不審者の影を発見するイメージでデザインしました。



<マグネットシート>

- 令和7年7月15日(火)午前10時から、北川ヒューテック株式会社専光寺社屋で「ながら見守り活動開始式」を開催しました。当協会戦略広報・情報化推進委員会 北川隆明委員長及び石川県警察本部 竹本邦夫生活安全部長の挨拶に続き、出席者が業務車両や重機にマグネットシートを貼り、各車両が出発しました。



<開始式の状況>



<マグネットシートの貼付>



<マグネットシートの貼付>



<車両出発>

令和7年春の褒章受章者の紹介

令和7年春の褒章で、田畑秀樹氏（有限会社田畑建設 代表取締役社長）が「黄綬褒章」を受章されました。

令和7年春の褒章

黄綬褒章 田畑秀樹氏

有限会社田畑建設 代表取締役社長



功績の概要

約50年の永きにわたり建設業に精励するとともに、県建設業協会常任理事も歴任し、業界の振興発展に貢献されました。

当協会鶴山会長から田畑氏に記念品目録が贈呈されました。



令和7年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰受賞者の紹介

令和7年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰が行われ、当協会関係者では、高木作之常任理事（昭和建設(株)代表取締役社長）、山田外志雄常任理事（宏州建設(株)代表取締役）の2名が受賞されました。両氏に敬意と祝意を表しますとともに、更なるご活躍を祈念申し上げます。



< 高木作之 氏 >



< 山田外志雄 氏 >

「中能登農道橋（ツインブリッジのと）」の暫定供用を開始

能登半島地震により大きな被害を受け、約1年半、全面通行止めとなっていた「中能登農道橋（ツインブリッジのと）」が、令和7年6月16日(月)から暫定供用を開始しました。



橋桁を支える支承4箇所が破損し、能登島側の橋桁と橋台の間に約40cmの段差が生じ通行不能となっていました。ジャッキアップ及び砂利敷設により段差を解消、落橋を防止する装置の取り付け等の応急工事が行われました。



<道路部分の損傷>



<橋桁の損傷>



<道路の補修>



<橋桁のジャッキアップ>



<橋脚の補修>

車両の重量規制を行ったうえでの片側交互通行（信号機規制）ですが、七尾市中島町と能登島とのアクセスが改善されました。

【写真提供：中能登農林総合事務所】

「柴山瀧5号用水路災害復旧工事」の実施 ～建設3Dプリンターの活用～

能登半島地震で、水路の埋没・損壊等の被害が発生した柴山瀧5号用水路が復旧し、その工事において建設3Dプリンターが活用されました。

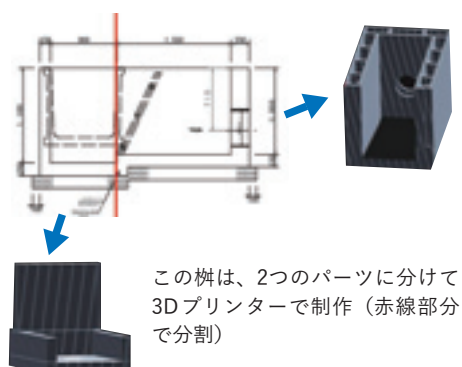
■復旧状況



■建設3Dプリンターの活用



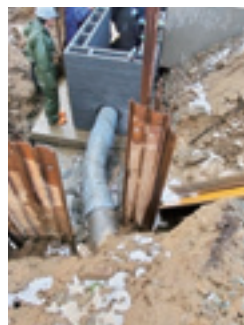
<工場での部材制作>



この桷は、2つのパーツに分けて3Dプリンターで制作（赤線部分で分割）



<現場での据え付け>



<現場でのコンクリート打設>

活用効果

- 工程が短縮（分水桷1か所の工程で本来32時間のところ12時間に短縮）
- 水替え日数が短縮
- 部材重量が1.9トン以下になりクレーンが不要
- 現場打ちと比較して、天候の影響が少ない
- 工程管理が容易

【写真提供：石川県、株式会社吉光組】

石川県建設業協会では、行政と連携を取りながら一刻も早い復旧・復興に向け、引き続き各種業務に従事していきます。

がんばろう能登！
がんばろう石川！

地震による地形変動を踏まえた洪水浸水想定区域の見直し

石川県土木部河川課

はじめに

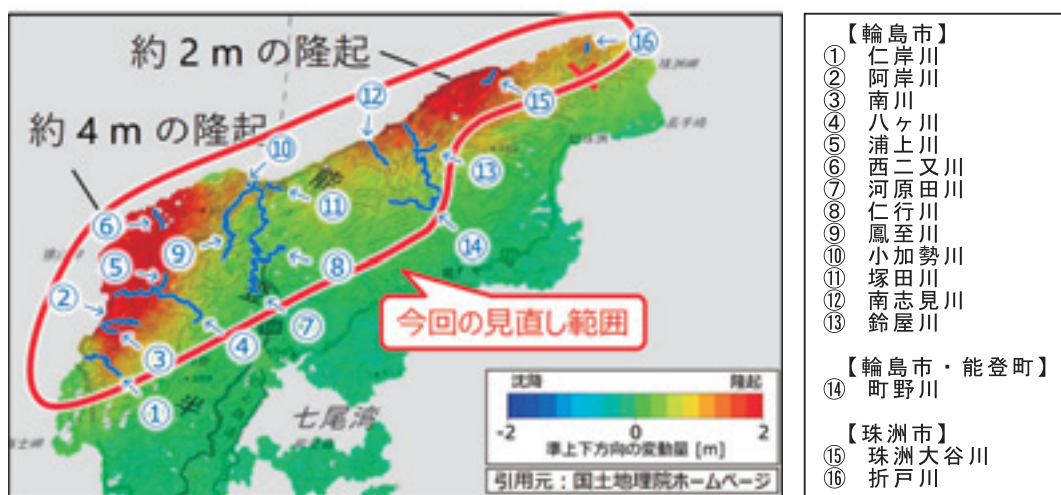
洪水浸水想定区域図は、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域と水深を表示するものであり、水防法に基づき河川管理者（国・県）が指定します。また、各市町では、洪水浸水想定区域図に避難場所や避難時の危険箇所等の情報を加え、洪水ハザードマップとして公表しています。これらの図やマップは、災害時の避難行動を支援することを目的に公表されています。

石川県では、令和5年5月までに県内全域の管理河川について、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表していますが、昨年の能登半島地震では大きな地形変動が生じたため、浸水が想定される区域や水深が変化することが推測されました。このため、洪水浸水想定区域の見直しを行うこととしました。

洪水浸水想定区域の見直し

①見直し対象の河川

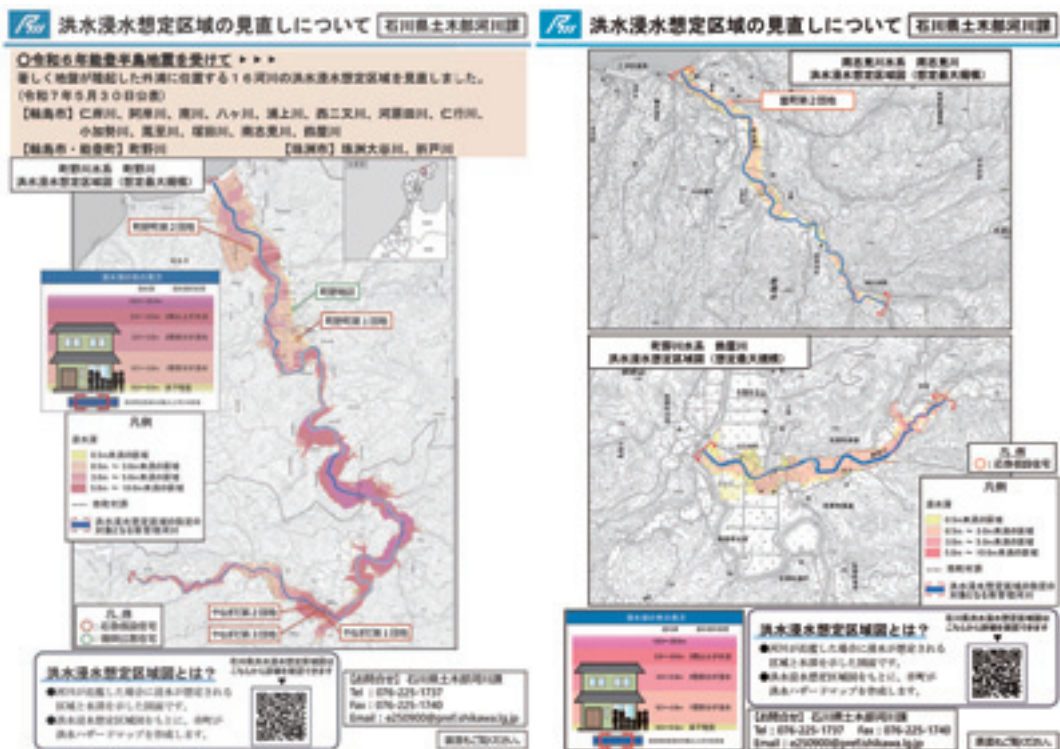
氾濫域において地震による地形変動が生じた河川を見直しの対象とし、国から提供される地震前後の地形データを踏まえて、順次対象河川を抽出しており、まずは、地形変動が顕著な外浦の16河川を先行して今年の出水期までに見直しました（図-1）。



<図-1 洪水浸水想定区域を見直した外浦の16河川>

②見直しの結果

見直しの結果、16河川中10河川で洪水浸水想定区域が増加したほか、想定される浸水深が大きくなる箇所も認められました。見直し後の洪水浸水想定区域には、輪島市内の仮設住宅1団地が新たに含まれることも判明しました。



＜図－２ 浸水が想定される地域に配布した広報紙（抜粋掲載）＞

③地域住民への周知

地形変動を踏まえた洪水浸水想定区域の見直し結果を地域住民の皆様へ確実に周知するため、浸水が想定される地域の全戸に広報紙を配布いたしました。（図－２）

また、県河川課のホームページで区域図を公開するとともに、県公式X（旧Twitter）等のSNSを活用するなど、あらゆる手段を用いて周知を図りました。

被災地で復旧工事に従事されている建設業者の皆様におかれましても、見直し後の洪水浸水想定区域図をご確認いただき、工事箇所や現場事務所、現地宿泊所等の水害リスクを事前に把握し、災害時に備えていただきたいと思います。

おわりに

県民の安全・安心の確保を図るためには、住民一人一人がハザードマップにより避難場所や避難経路を確認するなど、高い防災意識を持って、大規模水害に備えることが極めて重要です。

県では引き続き、地域住民の皆様の迅速かつ円滑な避難行動に資するため、残る見直しが必要な河川の作業を進め、来年の出水期までの指定・公表を目指すとともに、洪水ハザードマップの見直しが早期に行われるよう、市町への支援を行ってまいります。

石川県洪水浸水想定区域図は
こちらから詳細を確認できます



主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事 (柳田橋 A2橋台工)

< 施工企業名 > 南建設株式会社

- 工 事 名 主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事
(柳田橋 A2橋台工)
- 工事分野 道路改良工事
- 施工場所 羽咋市柳田町 地内
- 工事概要 橋梁下部工
橋台工 (逆T式鉄筋コンクリート橋台 H=10.1m) N=1基
基礎杭 (場所打ち杭 ϕ 1000mm L=32.0m) N=12本
- 工 期 令和4年12月1日～令和5年10月31日

推薦理由

当該工事は、のと里山海道4車線化事業の橋梁下部工事であり、市道を跨ぐ柳田橋のA2橋台を施工したものである。

杭基礎施工時には、杭打ちの精度を自動計測するシステムを用い、杭芯位置や杭傾斜を常時把握したほか、タブレットにより杭の状況を作業者間で随時共有する等、施工精度の向上につながる工夫を行い、良好な品質を確保した。

また、躯体施工時の立坑には、内部を覆うように遮光ネットを設置し、熱中症対策を実施したほか、敷鉄板の連結溶接やハンマグラブへの消音機具設置による振動騒音対策を適切に実施し、作業員の環境や近隣住民の環境に関しても、きめ細かな配慮を行った。



< 完成 >

作業風景



< 鋼矢板圧入 >



< コンクリート打設 >

現場代理人等のコメント



井上義明氏

この度は、優良建設工事知事表彰受賞の栄誉を賜り誠にありがとうございます。工事施工にあたり様々な面で御指導・御協力をいただいた発注者関係機関の皆様、隣接工事施工業者、工事関係者の皆様には心より感謝するとともに、深く御礼申し上げます。

この工事は、のと里山海道本線の既設橋台に隣接して4車線化のための新しい橋台を構築するものでした。既設橋台と新設橋台の間隔が接近していたため、事前に既設橋台の底版の位置を確認し、土留鋼矢板の打込み、引抜き作業には、近接部はサイレントパイラーを、その他の箇所は、油圧パイプロを使用し既設橋台への影響を最小限になるよう努めました。

また、施工時期が夏期ということで土留ピット内は気温が高く、無風のため熱中症対策を工夫し作業員の体調管理にはより一層の注意を払いました。

今後もこの受賞を励みに更なる安全確保・品質の向上を図り地域社会に貢献できるよう努力してまいります。

二級河川 河原田川 広域河川改修工事（護岸4工区）

<施工企業名> 株式会社宮地組

- 工 事 名 二級河川 河原田川 広域河川改修工事
(護岸4工区)
- 工事分野 河川工事
- 施工場所 輪島市河井町 地内
- 工事概要 施工延長 L = 68m (右岸)
鋼矢板護岸工 L = 68m
- 工 期 令和5年3月22日～11月30日

推薦理由

当該工事は、二級河川河原田川の河川改修工事であり、鋼矢板護岸工を実施したものである。

鋼矢板の吊り上げ作業において、ワイヤーと併用で専用の吊具を使用し、遠隔で鋼矢板の把持・着脱を行うことで、鋼矢板の滑り落ち等に対する安全確保を図るとともに、着脱の作業性向上を図った。

さらに、保安施設について、視認性の高いNETIS登録製品を使用し、第三者への注意喚起を実施することにより安全確保の向上を図った。



<完成>

作業風景



<台船航路及び進入箇所の浚渫>



<鋼矢板圧入作業、支障物確認除去作業>

現場代理人等のコメント

この度は、「国土と交通等に関する知事表彰」を賜り、誠にありがとうございました。本工事は、河川内に鋼矢板（13.5mm×75枚施工延長68m）を圧入する工事でありました。工事施工前にはバックホウ搭載の組立式台船を使用し鋼矢板圧入に支障となる護床ブロックを除去する必要がありましたが、台船の進入区域は喫水確保の為、事前の浚渫作業も併用して作業を進める必要がありました。また、工事箇所が河口付近で、外海からのうねりの影響を受けやすい箇所であった為、施工に当たっては、海象状態を常に把握し、航路の浚渫及び護床ブロックの除去範囲について事前に作業手順の確認打合せをし、ロス・手戻りのない作業としたことにより、トラブルの発生もなく作業を行うことができました。

最後に、事故や大きなトラブルもなく安全に工事を完了させることができたことが何よりです。今後もこの賞の受賞、経験を糧にし、更なる技術向上に微力をつくします。



坂角善行氏

4災20号 一級河川鍋谷川 河川災害復旧工事

< 施工企業名 > 株式会社吉光組

- 工 事 名 4災20号 一級河川鍋谷川 河川災害復旧工事
- 工事分野 河川工事
- 施工場所 小松市上八里町 地内
- 工事概要 復旧延長 L = 349m(左岸)
(1工区 L = 139m、2工区 L = 210m)
コンクリートブロック張工 A = 1,450㎡
コンクリートブロック積工 A = 16㎡
- 工 期 令和4年10月26日～令和5年6月30日



< 完成 (1工区) >

推薦理由

当該工事は令和4年8月豪雨で被災した河川護岸を復旧する工事である。

本工事では、河床の地盤が砂礫であることから、仮締切時に湧水による床掘法面の崩壊や仮締切転倒の恐れがあったため、床掘箇所には簡易土留を使用することで、床掘法面の崩壊を防止し、床掘作業時の安全性を確保した。また、基礎コンクリートや隔壁に2次製品を使用することで作業効率を向上させ、良好な出来栄で工事を完成させた。

さらに、地域貢献として工事期間が農繁期になることから、現場周辺の用水取水口の清掃ボランティアを実施し、公共事業のイメージアップを図った。



< 完成 (2工区) >

作業風景



< 仮締切 >



< 張りブロック >



< 伐採 >

現場代理人等のコメント



坂井勝彦氏

弊社が受注した工事が優良建設工事知事表彰を賜り、大変光栄に思います。発注者の担当者様、地域住民の皆様ならびに工事関係者各位様のご指導とご協力のおかげであると心より感謝申し上げます。

令和4年8月に南加賀地区で発生した集中豪雨において、梯川水系鍋谷川の堤防が被災しました。本工事はその被災堤防の災害復旧工事であり、令和5年の河川出水期までに河川機能の迅速な復旧を行うものでした。

復旧箇所は鍋谷川でも特に河川幅が狭く、さらに施工箇所から約300m上流で宮竹用水の排水口もあることから、流量、流速どちらも想定以上となり施工条件が厳しく多くの課題がありました。その課題に対し、適時、発注者および関係者と協議を重ね問題解決を行いました。その甲斐あって工事は、無事に事故なく工期内に終わることが出来ました。

今後も本工事での経験を活かし、そして地域の皆さまのお役に立てるよう一層の努力と精進をまいります。

いしかわ動物愛護センター本棟建設工事（建築）

<施工企業名> 岡・表特定建設工事共同企業体

- 工 事 名 いしかわ動物愛護センター本棟建設工事（建築）
- 工事分野 建築（営繕）工事
- 施工場所 河北郡津幡町字津幡 地内
- 工事概要 事務所・畜舎 木造平屋建て×1棟
延床面積 991.966㎡の新築工事における建築工事一式
- 工 期 令和4年12月20日～令和6年3月15日

推薦理由

杉板化粧型枠のモックアップを作成し、夏場の型枠の養生方法を確認することで、コンクリート仕上がり面の品質向上を図った。また工事看板を動物愛護センターのPRとなるイラストをあしらうなど注目性が高まるよう工夫した。

工事期間を通じて他工事との積極的な工程調整および安全管理に努め、事故もなく良好な出来栄で工事を完了した。

また、同時期に施工していた業者に声掛けをして、事業関係者一体となって森林公園の園路の清掃活動を実施した。



<完成（外部）>



<完成（内部）>

作業風景



<施工状況（全景）>



<施工状況（内部）>

現場代理人等のコメント

この度は、本工事において土木部優良建設工事知事表彰という名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。並びに工事にご協力いただいた多くの関係者の皆様のおかげであると、あらためて深くお礼を申し上げます。

本工事は、石川県森林公園内に位置しており、人と動物がより良い関係で暮らせる社会を目指し、動物の保護や譲渡等の活動に取り組む拠点をもととした「動物愛護センター」を建設する工事でした。

建物は木造平屋建てとなっており南北に約80mある長い建物となっております。構造体や化粧材に使用する杉材は全て森林公園内にある杉を使用しており、その他の木材も県産材を使用し、木を多く使用した温かさのある建物となっております。工事ではコンクリートに固定する土台のアンカーボルトが約700か所あり、構造体に影響がある為、精度を上げる事を十分に意識しました。

協力していただいた皆様のおかげで工期内に無事故で終わることが出来ました。この賞を励みに更なる努力をしていきたいと思っております。



元谷郷志氏

主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事 (舗装12工区)

< 施工企業名 > 沢田工業株式会社

- 工 事 名 主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事 (舗装12工区)
- 工事分野 舗装工事
- 施工場所 羽咋市寺家町 地内
- 工事概要 施工延長L=130m
表層工A=1,729㎡、基層工A=1,233㎡
As安定処理工A=1,030㎡、上層路盤工A=1,259㎡
- 工 期 令和5年3月20日～8月31日

推薦理由

当該工事は、のと里山海道4車線化事業における舗装新設工事であり、現道交通を切り回しながら現道から拡幅側へのシフト区間の工事を行うものである。

当該路線は自動車専用道路であり、走行性や耐久性の高い舗装が求められる中、サーフェスタウン部に専用アタッチメントを使用して省力化と品質向上を図ったほか、出水時の表面排水が集まる箇所であったため、洗掘や現道への流出対策として土のうを設置するなど、きめ細かな対応により良好な出来栄で工事を完成させた。

また、周辺地域の道路清掃や草刈を行うなど、環境配慮もなされた。



< 完成 >

作業風景



< 上層路盤敷均し (マシンコントロール) >



< 車線切替え時の現道部急速施工状況 >

現場代理人等のコメント



小林正治氏

この度は、土木部優良建設工事知事表彰という大変名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。工事に関しご指導いただきました中能登土木総合事務所監督員をはじめ工事に関係したすべての皆様には、大変御世話になり心から感謝申し上げます。

本工事は、のと里山海道4車線化に伴う舗装工事であり、ICT活用工事で施工を行うこととしました。マシンコントロールで敷均しや、地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理を行うことで、施工管理の効率化及び品質の向上を図ることができました。

また、車線切替え時の現道部夜間急速施工や、協議会会長としてセパレート供用に向けた各社の調整及び安全施設設置の工程調整など大変な場面もありましたが、無事予定通りセパレート供用することができました。

最後になりますが、無事故・無災害で完成できたことを関係者の皆様に感謝するとともに今後もこの受賞を糧に、更なる技術向上に励んでまいります。

川浦 災害関連緊急地すべり対策工事（ボーリング工）

< 施工企業名 > 株式会社のとさく

- 工 事 名 川浦 災害関連緊急地すべり対策工事（ボーリング工）
- 工事分野 砂防・地すべり等工事
- 施工場所 珠洲市川浦町 地内外
- 工事概要 横ボーリング工（地表） L=605m（N=39本）
- 工 期 令和5年5月9日～11月30日

推薦理由

本工事は、珠洲市川浦町地内外において令和5年奥能登地震により生じた地すべりの応急対策として水抜きボーリング等を実施する工事である。

応急工事となるため、速やかに着手する必要があるが、要請当日の5月9日に他工事の作業を延期して本工事に着手しており、会社の臨機措置体制が特に優れていた。



< 完成 >

作業風景



< 工事状況① >



< 工事状況② >



< 工事状況③ >

現場代理人等のコメント

当工事は、令和5年5月5日発生の震度6弱を観測した奥能登地震で被害を受けた珠洲市川浦町地内における緊急地すべり対策工です。

現場は、斜面中腹に建立されている等覚寺周辺です。敷地内には亀裂が多く、建造物にも大きな被害があり、等覚寺を中心に斜面の上部下部に地すべりが発生していました。その上部にも下部にも民家があることから住民の生活に危機が及ぶ恐れがあり、また、大きな亀裂も多く地震によって地盤が緩んでいたため、降雨により地下水が上昇すると大規模な地すべりに発達しかねない状況でした。

地震発生後、すぐに奥能登土木総合事務所より応急対策の依頼を受け、地割れをブルーシート養生し、すべり面、亀裂には移動杭、簡易傾斜計を設置して毎日観測を行いました。観測を続けひとまず動きがなくなったことを確認し、次は抑制工、緊急水抜き横ボーリング工の施工となりました。

材料の調達、モノレール架設の段取りがスムーズに行われるかが問題となり、材料は別現場で使用予定だったものを転用し、モノレール架設は協力会社へ依頼して早急に架設を行うことが出来ました。現場管理としては、マシンを各すべりブロックへ投入し各箇所同時施工を行うことで工期短縮を目指しました。

結果、早急に現場を開始でき工期短縮となりました。また、安全面にも配慮し無事故・無災害で工事を完成することができました。



山田昭宏氏

女性部会「百万石小町『結』」全体会議・講演会の開催

女性部会「百万石小町『結』」（森高靖子部会長）は、令和7年6月25日（水）、ANAクラウンプラザホテル金沢で本年度全体会議を開催し、部会員ほか90名が参加しました。



百万石小町 結

●講演会の開催（第一部）

- (株)エンパワーコミュニケーションの鎌田 敏氏から「やる気スイッチをONにする方法」と題し講演をいただきました。
- 「レジリエンス（適応・解決力）でモチベーション維持」や「欠点凝視と美点凝視（いいところ探し）を主眼に、モチベーションアップやストレスからの回復」等について、各テーブルごとのディスカッションを交えながら講演いただきました。
- 参加者からは、「改めて自分自身を振り返るきっかけになった。」「ストレスの対処法を学べた。」「コミュニケーションの取り方の参考になった。」等の感想が寄せられ、大変好評でした。

●懇親昼食会の開催

今回、部会員同士の交流を一層深めるため、懇親昼食会を開催しました。

●令和7年度全体会議の開催

- 森高部会長の挨拶に続き、事務局から「令和6年度の活動報告」及び「令和7年度の活動計画」等を説明・報告しました。
- 活動計画では、現場見学会の実施企画や高校生との意見交換会、児童や保護者向けイベントへの参加、Instagramを活用した「部会の活動や働く姿」の情報発信の継続等を説明しました。



< 鎌田講師 >



< 講演会 >



< 講演会 >



< 全体会議 >



< 森高部会長挨拶 >



< 懇親昼食会 >

山梨県建設業協会「けんせつ小町甲斐」との意見交換会の開催

女性部会「百万石小町『結』」（森高靖子部会長）は、令和7年6月25日（水）、令和7年度全体会議に引き続き、山梨県建設業協会「けんせつ小町甲斐」との意見交換会を開催しました。

当県女性部会員ほか90名が参加し、「けんせつ小町甲斐」から、前嶋世津子代表リーダー、遠藤尚美リーダー、山梨県建設業協会から、丹澤淳人副会長、大久保勝徳専務理事をお迎えして開催しました。



- 「けんせつ小町甲斐」は、2017年3月発足、山梨県内の建設業界の女性技術者、発注者、大学・高校の産・学・官のメンバーで構成されています。

「けんせつ小町甲斐」の活動として、PR動画『女性だって建設業で「活躍できる」を目指して。』の紹介や「建設まつり」への出展、「建設業で働く女性の活動等を語る会」の開催、現場視察研修・意見交換会の開催、担い手育成事業等の紹介をいただきました。

- 意見交換では、当部会員からの「新たに取り組んでみたいこと」の質問に対し、「建設ディレクター制度の普及に向けた講習会を開催する中で、現場環境の改善とともにバックオフィスも一緒に協働して現場を仕上げていくということを伝えていきたい。」と丁寧な回答をいただくなど、活発なやり取りが行われました。
- 参加者からは、「有意義で感銘を受けた。とても活動的で我々も取り組んでいきたい。」「様々な取組が非常に参考になった。」等の感想が寄せられました。



工業系高校生を対象とした現場見学会の開催

県内の工業系高校生を対象とした現場見学会を開催しました。

大規模な土木工事や建築工事の現場で最新の技術や歴史的建造物の補修を目にする等、貴重な体験となりました。受け入れにご協力いただいた方々に、改めて感謝を申し上げます。

なお、見学会は今秋にも開催を予定しております。

●石川工業高等専門学校

5月20日(火)：建築学科40名

見学先：金沢市森本地区新保育所建設工事

●金沢市立工業高校

6月19日(木)：建築科3年生36名

見学先：金沢市森本地区新保育所建設工事、(株)ヨネモリ工場内

7月14日(月)：土木科1年生35名

見学先：松寺町地下貯留施設設置工事、鈴見台中央第二緑地崩壊対策工事その3

●石川県立小松工業高校

7月1日(火)：建設科1年生34名、建設科2年生30名

見学先：(1年生) R5・6小松バイパスニツ梨跨道橋下部工事、金沢城二の丸等工事

(2年生) R6金沢東環堅田高架橋下部その3工事、鶴ヶ丘団地県営住宅建設工事

●石川県立羽咋工業高校

7月8日(火)：建設・デザイン科1年生40名、2年生15名

見学先：(1年生) 鶴ヶ丘団地県営住宅建設工事、R6能越道越の原横田道路復旧その1工事

(2年生) 金沢城二の丸等工事、鶴ヶ丘団地県営住宅建設工事



<石川工業高等専門学校>



<金沢市立工業高校>



<県立小松工業高校>



<県立羽咋工業高校>

輝きさん

NO.121

兼六建設株式会社

掛水 咲希さん

所属：建築部工事課

勤務年数：3年

年齢：23歳



金沢市松島の本社事務所に「輝きさん」を訪ねました。



現場の私

弊社は、昭和26年6月創業で今年74年を迎える建設総合会社です。「遊びの空間を創造し、信頼ある建築物をお客様に提供する。」を企業理念に、社会インフラの整備を中心とした公共事業をはじめ、医療・社会福祉施設や商業施設、マンション、オフィス等、様々な用途や規模の建物の建築、不動産開発等を手掛けています。

私は、建築部工事課に所属し、現場代理人として、今は金沢市内の機械工場の解体・新築等工事の現場を担当しています。小学校の時、図工の授業でイスを作ったのが楽しく、「自分はものづくりが好きなんだな」と感じ、ハウスメーカーで働く父の影響もあり建築の仕事に興味を抱き始めました。高校卒業後、専門学校で建築を学び「生まれ育った地元石川に少しでも貢献したい。」との思いで兼六建設株式会社に入社しました。幼い頃からの「ものづくりの楽しさの思い」を大切にしながら、地元の街を建築の力でデザインしていきたいと思っています。

私の最高の癒しは、愛犬達との時間です。ミニチュアダックスフンドの“カミン(13歳)”と“ミンミ(0歳)”、チワックスの“ズンミ(1歳)”の3匹で、みな個性的で一緒にいて本当に癒されます。休日はもちろん、最近は平日も早起きして散歩に出かけます。私が小学校4年生の時に“カミン”が我が家に来ました。社会人になってあまり構ってあげられず、「寂しくないように」と思い2匹を飼い始めましたが、年が離れているせいか下の2匹にはあまり興味がないようです。私と愛犬の4人姉妹、毎日楽しく過ごしています。

愛犬達と散歩



掛水 咲希さんから
後輩たちに一言

現場では大変な事も色々ありますが、本当にやりがいのある仕事です。休みもしっかりとれて余暇も楽しめます。私のように“ものづくりが好きな方”ぜひ建設業と一緒に頑張りましょう。

輝きさん

NO.122

株式会社風組

山野 雄太さん

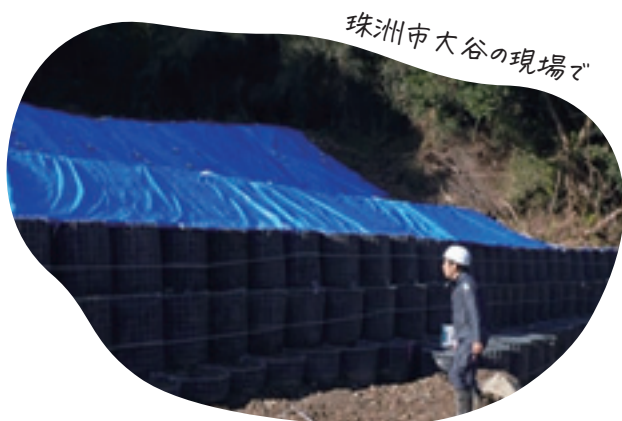
所属：工事部

勤務年数：1年3カ月

年齢：33歳



輪島市町野町の現場事務所に「輝きさん」を訪ねました。



珠洲市大谷の現場で

弊社は、昭和23年1月創業で、砂防・治山等の土木工事、家屋の建築工事等を手掛けています。私は、工事部に所属し、現在、現場代理人として輪島市町野町の砂防堰堤等の工事現場を担当しています。

出身は福井県で、地元の高校を卒業して広島県の大学に進学し、レンタルビデオ店に勤めた後、「若いうちにできる仕事はないか。」と考え地元に戻りました。ハローワークで建設業を紹介され地元建設会社に勤めましたが、5年後の令和6年1月、能登半島地震が発生し、復旧工事の現場で人手が足りていないことを知り、「石川県でチャレンジしたい。」と強く思い、その年の4月に風組に転職しました。

珠洲市大谷町の災害復旧現場に引き続き、輪島市町野町の砂防堰堤等の復旧現場に入っています。輪島市からの道路が崩落して珠洲市側から回り込まなければならず、珠洲で民家をお借りして寝泊まりしながらの作業です。現場は山間地で天候に左右されるなど色々大変ですが、「自分が今一番活躍できる居場所は石川県の建設業だ。」と実感し、日々の業務にやりがいを感じています。当面の目標は、一級土木施工管理技士の資格を取得して、先輩方に頼らず、一人で現場をしっかりと回せるようになることです。

休日は、福井県に帰って友人とカードゲームを楽しんでいます。「マジック：ザ・ギャザリング」は世界的にも有名なゲームで、様々なトレーディングカードを駆使して相手と戦い、持ち点をゼロにすれば勝ちです。掲載写真は、友人と30人位のイベントを開催した時のものです。盛り上がりましたよ。

長期休暇の時には、友人と古民家を1棟借りして宿泊したり、バーベキューをする等してリフレッシュしています。



ゲームイベントでの私
(手前中央が私)



山野 雄太さんから
後輩たちに一言

建設業は、10年・20年先でも必要とされる重要な仕事だと思います。また、自ら担当した現場は、通りがかり等に見かけると嬉しくなり、その時の様子が思い起こされ、達成感が感じられます。皆さんも是非チャレンジしてください。

輝きさん

NO.123

ほそ川建設株式会社

本田 広明さん

所属：工事部

勤務年数：3年4カ月

年齢：23歳



金沢市野町の現場に「輝きさん」を訪ねました。

弊社は、昭和54年創業の建設会社で、木造注文住宅をはじめ、公共施設の建設や伝統的建築物の補修工事等を手掛けています。私は、工事部に所属する現場監督として、現在、金沢市野町の店舗エントランスの改修を担当しています。古い建物や歴史があるものが好きで、県内の歴史的な建物修復や復元工事を担当する“ほそ川建設”を知り、「凄いことをやっているな。自分でもやってみたい。」と魅力を感じて入社しました。入社2年目に「兼六園料金の改修工事」という、念願だった“趣ある建造物の改修”に携わることができました。有名な観光地ですから、来園客の安全確保や現場の環境整理に最大限の配慮が必要であり、大変勉強になるとともに自分の自信に繋がった現場でした。

昨年、災害復旧で「穴水町の仮設住宅建設現場」を担当しましたが、建設業が“まさに困っている方々を助ける仕事”であり、“完成を望んでいる方々のお顔が見える仕事”であることが実感できました。



穴水町の仮設住宅建設現場で



高校卒業時がコロナ蔓延の時期だったので、その時に自転車(ロードバイク)を買って一人で走り始めました。元々、体力に自信があったので楽しく、愛車で金沢市内や隣県に出かけました。一番の思い出は、北海道旅行でロードバイクを借り、新千歳から札幌の90km近くを4時間程かけて走ったことです。最近は愛車に乗る機会も少なくなっていますが、また何処かに出かけたいと思っています。



本田 広明さんから
後輩たちに一言

建設業は、困っている方々の助けとなる“やりがいのある仕事”です。厳しい作業環境等のイメージを持たれがちですが、実際そのようなことはなく、週休二日制等で、休日もしっかり取得できます。皆さんもチャレンジしてください。

職場における熱中症対策に 関する石川労働局長からの要請

要請日時 令和7年5月28日(水) 9:45～10:15
 場所 石川県建設総合センター
 出席者 石川労働局
 八木健一局長 他労働局幹部
 県協会
 鶴山庄市会長、山岸 勇専務理事
 建災防石川支部
 真柄卓司副支部長、吉光岳文副支部長、
 田村行利副支部長、加藤雅章事務局長

概要

労働局では、5月から9月にかけて「STOP! 熱中症いしかわクールワークキャンペーン2025」を実施し、特に熱中症の7割以上が集中する7月・8月を熱中症予防の重点取組期間としています。令和6年度の県内の職場における熱中症による死傷者133名のうち、建設業が48名と全体の約36%を占めたことから、八木局長が当協会を訪れ、鶴山会長に「職場における熱中症対策の徹底」を要請しました。

鶴山会長は、「昨年から災害復旧工事が加速度的に増え、業務量が増大し、今後は本格復旧工事に参与していく。そのような情勢の中、現状や近年の猛暑状況等を踏まえ安全確保に取り組むことが重要となる。また、週休二日制をしっかりと意識しながら工事に当たる等、従事者の安全につながる取り組みを引き続き進めていく。」と応えました。



<要請書の伝達>



<概要説明等>

理事会の開催

開催日時 令和7年5月14日(水) 11:00～12:00
 開催場所 石川県建設総合センター
 出席者 正副会長4名、理事38名、監事2名

概要

冒頭、鶴山庄市会長は、「人手不足や資材の高騰・入手困難、労働時間規制等、問題・課題が山積しているが、皆様方のご協力やご意見を賜りながら活動してまいりたい。今日は、総会に向けた様々な議案をお諮りしますので、忌憚のない意見をお願いします。」と挨拶しました。議事では、以下の審議事項について報告・審議を行い、いずれも異議なく承認されました。



〈審議事項〉

1. 令和6年度事業報告及び収支決算について
2. 令和7年度事業計画及び収支予算について
3. 理事の選任について
4. 委員会名称の見直しについて
5. 定時総会の招集について

常任理事会の開催

開催日時 令和7年6月3日(火) 12:40~14:00
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 正副会長、常任理事、専務理事、
各地区協会専務理事(事務局長)、
県協会事務局

概要

会議に先立ち、石川県担当者から「防災士育成協力事業所について(危機管理監室)」、「一般事業主行動計画の策定について(少子化対策監室)」の説明をいただきました。

会議では、冒頭、鶴山会長が、「皆様には、災害復旧を含め大変ご尽力をいただいております、また資材高騰など採算性の問題でもご苦労が多いと思う。県協会として、様々な方策をとりながら引き続き問題解決に当たっていきたい。これから復旧・復興工事は長丁場となります。皆様のご意見等を賜りながらしっかりと連携し、それぞれの地域での生活・社会インフラ整備に取り組んでまいりたい。」と挨拶しました。その後、下記議題について報告・協議を行いました。



〈議題〉

1. 今後の主な日程について
2. 建設工事受注高について
3. 各地区協会の活動について
4. 建設業をめぐる最近の話題について
5. その他

歩いてみよう！「のと里山海道」への参加

(一社)石川県建設業協会は、5月11日(日)、内灘町で開催された「世界の風の祭典」にあわせ石川県が主催する『歩いてみよう！「のと里山海道」』に共催し、(一社)羽咋都市建設業協会、(一社)石川県舗装業協会、石川県アスファルト合材協会、(一社)石川県交通安全施設業協会、(一社)石川県測量設計業協会、石川県警察とともにイベントに参加しました。

のと里山海道「千鳥台交差点～大根布JCT間」の約1.5kmを通行止めにして、来場者は、普段は車などでしか通行できない「のと里山海道」を歩きながら、各協会のブースにおいて各種体験やクイズラリーを楽しみました。

当協会では、羽咋都市建設業協会とともに、ミニバックホウでのボールすくい、バックホウ試乗体験、VR体験、建設青年委員会とともに、建設機械の展示・操作体験、顔はめパネルによる写真撮影を行い、建設業の楽しさや魅力を伝えました。当日は晴天で、親子連れら約1,500人が来場し、クイズラリーに答えた子供達には景品をプレゼントするなど、各協会ブースでの体験・展示などを通して、建設業への理解を深めるとともに関心を高めました。



令和7年度「1級土木施工管理技術検定試験(第一次)受験対策講習」の開催

開催日 令和7年5月9日(金)、6月5日(木)、6月6日(金)
開催場所 石川県建設総合センター
講師 技術士・コンクリート診断士 中野哲朗氏
森技術士安全コンサルタント事務所 森 光明氏
受講者 35名

概要

建設技術研修所は、「1級土木施工管理技術検定試験(第一次)受験対策講習」を開催しました。5月9日(金)、中野講師が「受験に向けた自己学習のポイント」等を講義し、6月5日(木)、検定試験形式で模擬試験を行いました。採点結果で正解率が低かった設問を重点に、6月6日(金)、中野講師及び森講師が「弱点克服に向けた解説」を行いました。

令和7年度1級土木施工管理技術検定試験は、第一次検定が7月6日(日)、第二次検定が10月5日(日)に行われます。



< 講義の状況 >



< 模擬試験の状況 >



< 両講師による解説の状況 >

輝き☆さん

のラジオ出演!

当協会のホームページや協会報で紹介する“輝き☆さん”(会員企業の若手社員)が、エフエムラジオの番組に毎月出演し、建設業の魅力や仕事への意気込み等を語ります。

エフエム石川



是非お聞きください

けんせつ一番星☆
「-Sunset Express-MOVE」

毎月第4火曜日 18:00 ~ 18:05

石川県 ICT フェアの開催

開催日時 令和7年6月20日(金) 10:00～17:00
令和7年6月21日(土) 10:00～17:00
開催場所 石川県建設総合センター
参加者 延べ160名

概要

建設技術研修所は、石川県土木管理技士会との共催による「令和7年度石川県 ICT フェア」を開催しました。下記講演のほか、両日、会場において出展企業によるブースを開設し、システムやソフトウェア等の展示・デモンストレーションを行いました。

6月20日(金)

1	サイバークリミナル	石川県警察本部サイバー犯罪対策課 警部 井口 慎一郎 氏
2	建設DXに向けた取り組みの紹介	(一財)日本建設情報総合センター 北陸地方センター長 渡邊 昌彦 氏
3	サイバー攻撃は他人事じゃない！建設業のセキュリティ対策	リコージャパン(株)デジタルサービス営業本部 石川支社石川営業部ビジネスアプリケーショングループ 北畠 優子 氏
4	情報共有システムがつくる建設業の明るい未来について	(株)アイサス 営業部 寺岡 由希子 氏
5	安全教育×業務効率化＝持続可能な現場力	(株)コンピュータシステム研究所 土木事業部 中部支社北陸営業所 所長 山根 尚之 氏

6月21日(土)

1	今やなければ淘汰される！建設業界のAI格差が始まった！	CIVIL CREATE(株) 取締役COO 長田 将吾 氏
2	ドローン撮影におけるルールについて	(株)タップス ドローン事業部 マネージャー 林 大輔 氏
3	「つくる」から「使う」そして「見せる」 BIM/CIM	福井コンピュータ(株) 渡部 達哉 氏
4	平時のAI、有事発生時のAI	(株)G Success 代表取締役 北野 雅史 氏



< 講習 >



< 出展企業によるブース開設 >

第47回測量コンテストの開催

開催日時 令和7年6月2日(月) 9:30~13:00
 開催場所 金沢市ものづくり会館
 及び隣接ふれあいゴルフ広場内
 参加者 地区協会対抗競技：9チーム18名
 企業・高校生対抗競技：企業18チーム36名、
 高校生3チーム6名
 共 催 (一社)石川県測量設計業協会

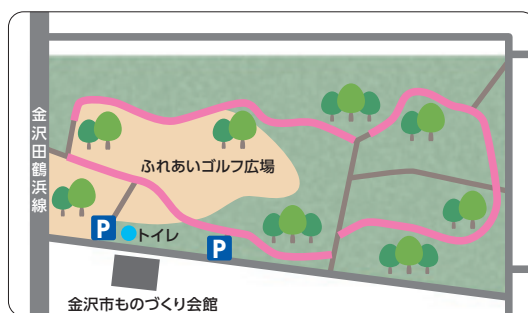
概要

水準測量の基礎技術を競い合い、技術の向上と親睦を図るため、第47回測量コンテストを開催しました。地区協会対抗競技に9チーム18名、企業・高校生対抗競技に企業から18チーム36名、金沢市立工業高校から3チーム6名、合計30チーム60名が参加しました。開会式に引き続き、外業の競技に移り、各選手がふれあいゴルフ広場内に設置された各コースでの測量作業に取り組み、その後、内業の競技が行われました。

競技では、日頃の業務や実習等で培った技術を競い、石川県測量設計業協会の松浦審査委員長をはじめ7名の審査員が、精度や基本動作、所要時間（外・内業）、各側点・往復精度、手簿・成果表を細かくチェックしました。



<開会式>



<コースの状況>



<外業に取り組む参加者>



<内業に取り組む参加者>

第47回測量コンテストの競技結果 及び表彰式の開催

～優勝 地区協会対抗：河北郡市土建協同組合
企業・高校生対抗：株式会社高田組

開催日時
開催場所
出席者

令和7年7月1日(火) 11:15～11:35
石川県建設総合センター
北川隆明 戦略広報・情報化推進委員長
松浦誠治 審査委員長 ((一社)石川県測量
設計業協会)
山岸 勇 相談役 (建設技術研修所長)
入賞者10名、事務局3名

概要

「第47回測量コンテスト（令和7年6月2日開催）」の表彰式を開催しました。今回、地区協会対抗競技に9チーム18名、企業・高校生対抗競技に企業18チーム36名、金沢市立工業高校から3チーム6名の合計30チーム60名が参加したもので、審査の結果、地区協会対抗は、河北郡市土建協同組合、企業・高校生対抗は、株式会社高田組が優勝しました。

表彰式では、北川委員長が各入賞チーム選手に賞状と記念品を授与した後、「何をするにも基本が大事。測量技術は進歩するが、しっかりと研鑽し技術を磨いていただきたい。」と挨拶しました。その後、松浦審査委員長が「受賞チームは内容の取りまとめが上手だった。コンテストは自身の測量技術を試す良い機会になる。今後も頑張ってください。」と講評しました。



〈受賞チーム〉

地区協会対抗				
優	勝	河北郡市土建協同組合	長原 瑛乃	西村帆乃花
準	優	勝	(一社)羽咋郡市建設業協会	本間 聖也
三	位	(一社)珠洲建設業協会	一宮 啓修	乙谷内浩樹

企業・高校生対抗				
優	勝	株式会社高田組	山本 葉菜	中村 聖捺
準	優	勝	株式会社丸西組	東 龍之介
三	位	加賀建設株式会社	長尾 晃次	田中 美優



＜地区協会対抗受賞者の皆さん
(中央の2名が優勝の河北郡市土建協同組合チーム)＞



＜企業・高校生対抗受賞者の皆さん
(中央の2名が優勝の(株)高田組チーム)＞

理事会の開催

開催日時 令和7年5月14日(水) 12:50～13:15
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 正副理事長3名、理事25名、監事2名

概要

理事会では、鶴山庄市理事長が、「皆様には様々なご協力をいただき、情報共有の取り組みも業績に貢献している。本日は、事業報告や収支決算・予算等、総会に向けた議案をお諮りするので忌憚のないご意見をお願いします。」と挨拶しました。議事では、以下の議案について報告・審議を行い、いずれも異議なく承認されました。



〈議案〉

1. 令和6年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分（案）承認について
2. 令和7年度事業計画並びに収支予算承認について
3. 令和7年度借入最高限度額の決定について
4. 令和7年度一組合員貸付最高限度額の決定について
5. 理事選任について
6. 総会の招集について

令和7年度 石川県総合建設業協同組合第51回通常総会の開催

開催日時 令和7年5月28日(水) 14:05～14:35
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 組合員76名（委任状25名）

概要

通常総会では、鶴山理事長が、「組合運営は順調に推移しております。本日は、令和6年度の事業報告や決算、本年度の事業計画等をお諮りしますので、ご審議いただきたい。」と挨拶しました。

議事では、令和6年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分（案）承認、令和7年度事業計画並びに収支予算承認、令和7年度借入最高限度額の決定、令和7年度一組合員貸付最高限度額の決定、理事改選の5議案について審議・報告が行われいずれも異議なく承認されました。

なお、理事改選では、専務理事に鈴見裕司氏が選任されました。



< 鶴山理事長挨拶 >



< 総会会場 >

令和7年度理事会・通常総会の開催

開催日時 令和7年6月19日(木) 11:00~12:15
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 理事20名(委任状11名)
会員団体18団体(委任状11団体)

概要

理事会・総会に先立ち、宮本義浩石川県技監から「石川県の土木施策等について」と題した講演をいただきました。

理事会・総会では、鶴山庄市会長が「能登の復興は、人的な問題や資材不足、運搬の難しさ等が重なり厳しい環境にある。皆様方は、それぞれの団体で、それぞれの地域で一生懸命に取り組まれておられる。我々としても皆様方の知恵を借り、色々な方々のアドバイスをいただきながら、最善を尽くしてまいりたい。今後とも、建設産業連合会の各種事業に協力を賜らんことをお願い申し上げる。」等と挨拶しました。議事では、「令和6年度事業報告・収支決算」及び「令和7年度事業計画・収支予算」並びに「役員選任」の3議案がいずれも異議なく承認されました。新役員には、常任理事に尾蔵丈房氏(県地質調査業協会)、専務理事に鈴見裕司氏(県建設業協会)が選任されました。



<宮本技監の講演>

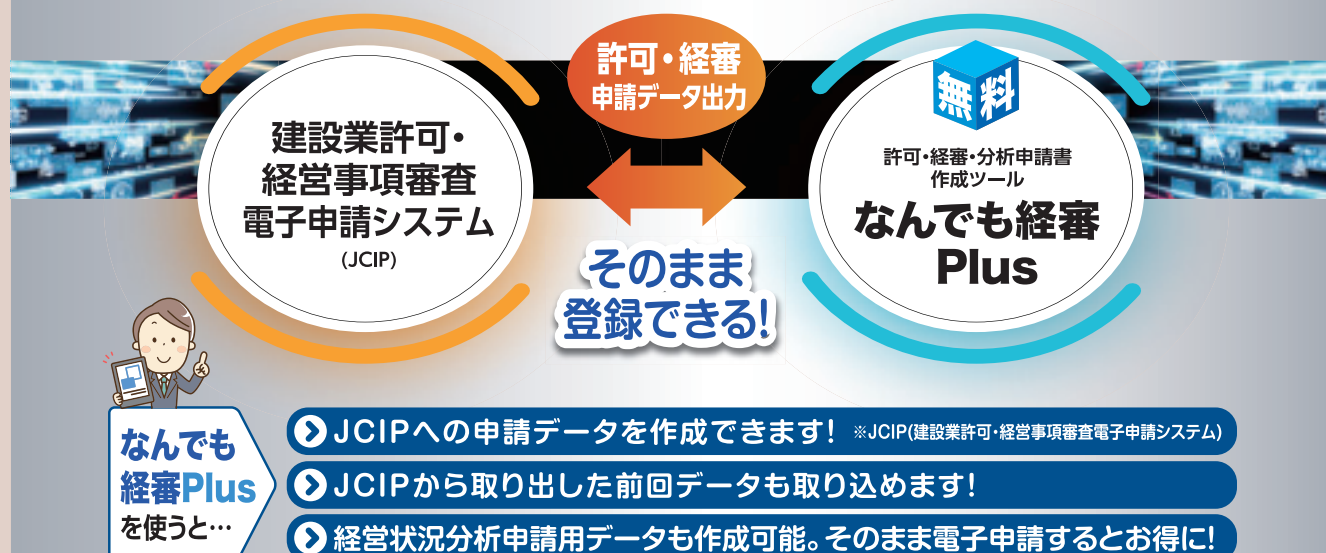


<鶴山会長の挨拶>



<理事会・総会>

許可・経審の“電子申請”も「なんでも経審Plus」



登録経営状況分析機関
登録番号 1

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 東日本支部

お問い合わせ

■北海道
■関東
■東北
■中部・北陸

Tel 011-222-2688
Tel 03-6661-7427
Tel 03-6661-7214
Tel 03-6661-7524

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14番1号 住友生命日本橋大伝馬町ビル4階
詳しい情報は <https://www.ciic.or.jp/>

または

なんでも経審Plus

検索

当財団は、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)に関するISO規格(27001)の認証を取得しています。



小冊子サービスのご案内

弊社では、お客さまサービスの一環として、企業経営や社員教育に役立つ小冊子を作成し、前払金保証・契約保証をご利用いただいているお客さまに無料でお配りしております。小冊子の提供をご希望される場合は、石川支店までお問い合わせください。

若手技術者向け



建設フレッシュマン
GUIDE BOOK 2022



マンガでわかるシリーズ



建設技術者
START BOOK 2023



英語版 外国人技術者向け



経営者向け



現場代理人の育成ガイドブック
【知識と実践】



建設業経営者のための
人材確保・定着ガイドブック



建設業のためのQ&A
経営事項審査



建設業経営者のための
事業承継ガイドブック

SAMPLE

マンガでわかるシリーズの
サンプルはこちら



その他の小冊子の
サンプルはこちら



お問合せ先

東日本建設業保証株式会社
石川支店 ☎076-242-1231

有資格業者の皆様へ

発注者綱紀保持にご協力願います

北陸地方整備局は、国民の信頼を確保するため、

- ① 発注事務に関する情報管理の徹底
 - ② 事業者等との応接方法
 - ③ 事業者等からの不当な働きかけに対する報告の徹底
 - ④ 執務室の環境整備
- などを定め、発注事務に係る綱紀の保持に努めています。

以下の点に、ご注意ください

秘密の漏洩防止等のため、**執務室への自由な入室を制限**しています。
～ ご用の方は、受付又はカウンターで付近の職員にお声かけください～

オープンな場所での打合せをお願いしています。
～ 原則、複数の職員で対応することとしています～

指名通知又は競争参加資格確認通知を受けてから入札を執行するまでの間は、営業に関する面会はお断りしています。

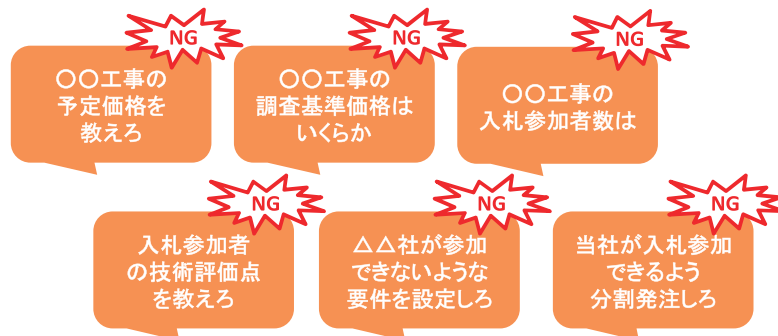
※詳しくは、北陸地方整備局ホームページ (<http://www.hrr.mlit.go.jp/>) へ
ホーム > 情報公開 > 発注者綱紀保持 からご覧ください。

「不当な働きかけ」は、記録・公表されます！

「不当な働きかけ」とは

1. 事業者等の競争入札への参加又は不参加に関する要求行為
2. 事業者等の受注又は非受注に関する要求行為
3. 非公開又は公開前における予定価格又は低入札価格調査制度の調査基準価格（これを推測できる金額を含む。）に関する情報漏洩要求行為
4. 入札参加者についての公表前における情報漏洩要求行為
5. その他、事業者等への便宜、利益若しくは不利益の誘導又は談合につながるおそれのある要求行為

〔具体例〕



事業者と官製談合防止法※

※入札談合等関与行為の排除及び防止並びに職員による入札等の公正を害すべき行為の処罰に関する法律

官製談合防止法は、一見すると公務員のみに適用され「事業者」には関係ない法律のように思われるかもしれませんが、刑法第65条第1項に「身分犯の共犯」についての定めがあり、これによって「事業者」の社員が官製談合防止法第8条に違反した「職員」の共犯とされた判例もあります。

(名古屋地裁H29.2.21 判決)

■官製談合防止法 第8条(職員による入札等の妨害)

職員が、その所属する国等が入札等により行う売買、貸借、請負その他の契約の締結に関し、その職務に反し、事業者その他の者に談合を唆すこと、事業者その他の者に予定価格その他の入札等に関する秘密を教示すること又はその他の方法により、当該入札等の公正を害すべき行為を行ったときは、**五年以下の懲役又は二百五十万円以下の罰金**に処する。

■刑法 第65条(身分犯の共犯)

犯人の身分によって構成すべき犯罪行為に加功したときは、身分のない者であっても、共犯とする。

建設業のみなさんへ

建退共
KENTAI KYO

建退共
けん たい きょう
に入ろう!

従業員をまもる。
会社を強くする。

建設現場で働く労働者のための国の退職金制度です。

掛金は損金扱い!
新規加入で一部免除

電子申請方式なら
手続きもカンタン!

一人親方も
加入できる!

詳しい情報はこちら!

Q 建退共

<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp>



建設業 建退共 職金 共済 制度

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866

(2024.09)

お問い合わせは

建退共石川県支部

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258

ますます安心。充実の制度。



契約者割戻金制度が始まっています。

契約者
割戻金制度により
**掛金負担が
軽減**

手厚い補償

保険金区分合計
最高**5,000万円**

労働者と企業の
**リスクを
カバー**

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度



今すぐ、ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関: (一社)石川県建設業協会
〒921-8036 金沢市弥生2-1-23
Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00(土日祝を除く)

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



※写真は表紙作品より一部拡大して掲載

石川の工芸シリーズ 81

表紙写真

硝子胎七宝皿「piece of nature」 (がらすたいしっぽうさら ピースオブネーチャー)

塚原 梢 (つかはら こずえ)

神奈川県：1986～

個人蔵

制作年／令和5(2023)年 サイズ／奥行 18×幅 18×高さ 2cm

作品は、ガラスに細く薄いリボン状の銀線を立てて模様を描き出す、「ガラス胎七宝」という技法で制作されたもの。作者が学生時代にガラスと金工を学んだことが、ガラスに異なる素材の金属を融合させる独自の表現につながっている。作品のモチーフは植物の茎の断面図。繊細な管の紋様が、銀線のきらめきと鮮やかな色彩によって、すりガラスに仕上げられた器体のうえに浮かび上がり、皿の側面に施された金彩が全体をひきしめている。手間と時間をかけて作り出された細密な美しさに、作者の技術力を感じる作品である。



“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業
一般社団法人 石川県建設業協会

〒921-8036 石川県金沢市弥生2丁目1番23号

TEL (076)242-1161(代)

FAX (076)241-9258

URL <http://www.ishikenkyo.or.jp/>



この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用した印刷物です。